

4/21
五種

高齢世帯の単身、3割超

2040年推計 全都道府県で

世帯主が65歳以上の高齢世帯のうち、一人暮らしの占める割合が、2040年に全都道府県で3割を超える見通しであることが19日に厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所は、「1980年代以降に未婚化が進み、結婚した。同研究所の担当者は「1980年代以降に未婚化が進み、結婚した。同研究所の担当者は「1980年代以

婚したことのない高齢者が増えていることなどが要因」とみています。

の全世帯に占める割合は、30年に全都道府県で3割以上となり、40年には東京と愛知を除く45道府県で4割を超える見通し。トップは秋田の57・1%で、10県で5割を上回ります。

で最も高く、大阪45.4%、高知44.8%、鹿児島44.6%、北海道43.1%などが続きます。全世帯のうち単身世帯の割合は、全都道府県で25年に「夫婦のみ」「夫婦と子」「ひとり親と子」などを上回り最大となり、その後も上昇を続けるとみられます。東京では40年に48.1%に達し、全体の半分近くが単身世帯となる見込みです。